

## 編集後記

ネットニュースが主流となりつつある昨今、記事の内容よりも膨大な情報の中から自分の知りたいものを選択する作業にばかり労力を割いているように感じる。今回、歯学部ニュースの編集に携わり、原稿を通じて歯学部に関わる方々の「熱量」を実感いたしました。厳選した情報をまとめましたので、ぜひ内容をお楽しみいただければと思います。最後に、歯学部ニュース145号発刊に際しまして、原稿作成にご協力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

歯周診断・再建学分野 佐藤 圭祐

今回初めて編集委員を務めました。寺尾先生をはじめ、編集長中村先生、事務の方々のご協力により無事に発刊の運びとなり、とてもうれしく思います。またお忙しいところ原稿執筆いただきました皆様に御礼申し上げます。新潟大学歯学部のアクティブな活動状況を内外に広く発信する本誌事業に携わることができ大変貴重な経験となりました。

歯科麻酔学分野 山本 徹

新潟大学に赴任して歯学部ニュースの存在を知り、歯学部の学生さんや先生方の様子を細かに知ることができる貴重な媒体であると感じておりました。今回初めて編集に携わらせていただき、編集責任者の寺尾先生をはじめ、事務の方々を含めた多くの方々のご協力で本誌が作成されていることを知ることができ、大変良い機会となりました。原稿依頼に苦勞した場面もありましたが、お忙しい中、原稿を引き受けてくださった皆様、誠にありがとうございました。

口腔生化学分野 市木 貴子

この度、編集長を務めさせていただきました。本誌が実に多くの人の手によって作られ、そして多くの人の手へ渡る媒体であることを実感する機会となりました。人の手を介して作られ、書き手と読み手がつながっていく、その営みに温かさを感じることができたことも、大きなやりがいとなりました。執筆を快諾していただいた皆さま、伴走していただいた編集委員の皆様、編集作業を土台から支えていただいた寺尾先生、そしてすべての読者の皆様に心より御礼申し上げます。これからも、皆様の心と身体が豊かでありますように…。

福祉学分野 中村 健